

座禅例会

(平成12年10月12日)

平成12年10月12日、立川競輪場の会場を借りて、曹洞宗相川寺・齊藤嘉全住職（当クラブメンバー）による『座禅と説法』と称した座禅例会が開催された。

『禅を習うというのは自己を習うことなり。自己を習うというのは自己を忘ることなり。』調身、調息、調心が座禅の三要素であり、身、口、意の三業が煩惱を生み出す三毒という。人間は、財欲、色欲、食欲、名欲、睡欲の五つの欲を持つ。

説法後の、20分間の座禅修行であったが、出席したメンバーの真剣な取り組みは、日頃の煩惱を捨て去り、清しさを感ぜられた。この気持ちを何時まで持ち続けられるかは疑問だが。



斎藤Lから、煩惱だらけのメンバーに、有り難い説法です。



座禅のやり方の指南です。



吉田L、煩惱を捨て去りなさい！



小倉会長も、様になっています。



何十年振りかで清い心になった方々。



こんな真剣な森山L見たことがない。



久住L、何か悩み事でも？